（管理規則第３条実施要領　別紙様式）

２０２３年度（令和５年度）学校評価自己評価表

新市中央中学校区	校番 68	福山市立新市小学校
	最終更新日	2023 年（令和５年）４月１４日

Ⅰ　福山市

ミッション　　福山に愛着と誇りを持ち，変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン　　「福山１００ＮＥＮ教育」の基本理念のもと，各中学校区・学校が「２１世紀型“スキル＆倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し，日々の授業を中心として評価・改善を進めながら，子どもたちの確かな学びを実現している。

Ⅱ　中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容

- 子どもが引き込まれる授業は，先生が教材に引き込まれている。先生が「楽しい」「美しい」と表現することが大切。
- 情報活用能力は校区で育成する４つ力と全て関連する。「情報をどう受け止めさせるのか」，「情報と自分たちとの関りを考えさせること」が大切。
- 先生方に見えている子どもの姿は一面であり，家庭や地域では別の姿を持っていることを大切にして欲しい。

児童生徒の現状

- 小中学校とも落ち着いた温かい雰囲気の中で，学び合ったり，教え合ったりする姿が多く見られている。
- 新市スタンダードの生活４項目に継続して取り組み，高数値を維持している。
- 課題のあった運動種目について，子供たちに目標を設定させ，体育の授業や家庭でも取り組ませた結果，課題が克服できてきた。

育成する力（21世紀型“スキル&倫理観”）	課題解決力，チャレンジ＆チェンジする力，つながる力，自己表現力
めざす子ども像（義務教育修了時の姿）	・課題を設定し，情報を比較・分類・関連付けながら解決する児童生徒。 ・自分の目標達成に向けた計画を立て，取り組む児童生徒。そして，その取組を定期的に振り返り，改善策を考える児童生徒。 ・互いの良さや違いを認め合い，協働して課題の解決策を導き出す児童生徒。 ・自分の思いや考えを相手に分かりやすく説明する児童生徒。
中学校区として統一した取組等	・地元事業者や地域の方と育成したい資質・能力を共有しながら，自分の思いや考えを，相手や場に応じて，分かりやすく説明することができる自己表現力を育んでいく。 ・新市スタンダード学習５項目（準備，チャイム，話を聞く，姿勢，家庭学習），生活４項目（挨拶，言葉づかい，身だしなみ，掃除）の徹底を進める。

Ⅲ　自　校

ミッション

明日の新市を拓く「生きる力」の育成

学校教育目標

進んで学び，やさしく，たくましく生きる児童の育成

現　状

＜児童＞
- 児童は全体的に落ち着いて生活・学習することができており，教え合うこともできるが，児童相互による深め合いに課題が残る。
- 主体的・対話的で深い学びに関する児童質問紙の肯定的回答は全体的に高い傾向がある。
- 児童への意識調査で「授業で考えることが面白い」の肯定的評価は 90％である。
- 自分の考えを，資料や文章，話の組み立て等を工夫して発表する力を高める必要がある。
- 読解力を高める必要がある。

＜授業＞
- 教師主導の傾向があるが，課題の設定の工夫を行い，児童の能動的な学習を促す授業づくりを行っている。
- 児童は，話をよく聞き，聞いたことをもとに友達の考えに理解・納得しながら考えを深めようとする学びをつくるようにしている。
- 地域・企業連携学習を通して学んだことを，自分の課題解決に生かし，学びを進めている。
- 児童相互に課題解決に向けて，深め合っていく授業づくりをより進めていく必要がある。

育成する力（21世紀型“スキル&倫理観”）		課題解決力	チャレンジ＆チェンジする力	つながる力	自己表現力
めざす子ども像	１・２	問題を理解し，自分で考えて解決している。	自分のやりたいことに挑戦している。	友達のよいところみつけている。	自分の思いを相手に伝えることができる。
	３・４	課題を見つけ，自分の考えと友達の考えを比べながら，課題を解決している。	困難なことにも挑戦し，最後までやりきることができる。	友達のよさを見つけ，共に行動している。	自分の思いや考えをまとめて表現することができる。
	５・６	解決すべき課題を設定し，情報を比較，分類，関連付けて考え，互いの考えを検討し合い，課題を解決している。	活動をふり返り，改善策を考えることができる。	互いのよさや違いを認め合い，協働して課題解決をしている。	自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明することができる。

研究	テーマ	学びに挑み，表し，自分を見つめ，新しい知識・価値を創り出す児童の育成 ～言葉・数等とイメージ・知識・経験等をつなげ，多様な気付き・発見・考えを大切にする学びづくりを中心に～
	内容等	・キャリア教育を中心とした資質・能力の育成と評価 ・算数科・生活科・総合的な学習を中心に主体的に学び，新しい知識・価値を創り出す学びづくり
めざす授業の姿		・定着・活用する学び，社会・生活等とつながり自分事として考える学び ・単元づくり・課題提示・発問等が工夫された学び ・言葉・数等とイメージ・知識・経験等をつなげ，創造的に思考・試行錯誤しながら，自ら，そして，ともに新しい知識・価値を創り出す学び

Ⅳ　目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立新市小学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日) □指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	最終評価(2月末) □指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価	改善方策
3	子どもが学ぶに向かう力，学び続ける力を育成する。	★	継続	課題解決力を育成する。	①教材研究の充実を図り，単元づくり・課題提示・発問等を工夫する。 ②自ら，そして，ともに言葉・数等とイメージ・知識・経験等をつなげる学びづくりを行う。（それらを共有知・相違知としながら） ③創造的に思考・試行錯誤しながら，新しい知識・価値を創り出す学びづくりを行う。（「創造的に思考した」・「新しい知識・価値を獲得した」実感づくり）	・研究主題をもとにした「チャレンジ授業」を２週間に１回以上行う。 ・月１回の「チャレンジ授業ミニ交流会」を行う。									
			継続	チャレンジ＆チェンジする力を育成する。	○学びを通して創り出した知識や価値等を，自らの力として高めようとする取組を工夫する。	・各学級・個別に，「自ら鍛える」の取組を考え，自分の力を高める取組を継続的に行い，それを年間，3回実践交流する。（見直しも含む） ・単元末テスト（国語・算数）の学期・年間平均点80点以上。									
			継続	つながる力を育成する。	○「友達のいいとこみつけ」と「自分のいいとこみつけ」をセットで行い，自己肯定感を高める。	・「自分にはよい所がある」に関する児童の肯定的回答が９０％以上。									
			継続	教職員のやりがい・充実感を高める。	○「チャレンジ授業」を中心に児童の学びのよさや，教材，指導・支援について対話・面談等をする。	・やりがい・充実感（達成感）を感じる教職員が85％以上。									
3	地域や地元企業と連携したキャリア教育を推進する。	★	継続	自己表現力を育成する。	○算数科や生活科・総合的な学習の時間（地域・企業連携プロジェクト学習等）を中心に，日々の授業において，自己表現力を高める学習を行う。	・地域・企業と連携したプロジェクト学習を通して，自己表現力に関する児童の肯定的回答の割合が85％以上。									

［プロセス評価の評価基準］

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ，状況の変化，問題が生じた際は，協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ，状況の変化，問題が生じた際は，協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ，状況の変化，問題が生じた際は，協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く，状況の変化，問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず，状況の変化，問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

［達成評価の評価基準］

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し，十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し，望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し，一定の成果をあげた。
2	目標を下回り，成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り，成果が認められなかった。

［総合評価の評価基準］

評点	評価基準	
5	１００％以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	８０％以上１００％未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	６０％以上８０％未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	４０％以上６０％未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	４０％未満の達成度	目標を達成できなかった。